

新型コロナウイルス感染症の拡大で、子どもたちは今年度も研究や観察に大きな制約を受けたことと思います。それでも、生物や化学などの各分野において様々なテーマで取り組まれた作品が59点も集まりました。

どの作品も研究の動機から観察や実験の方法と結果、そこから導き出された考察と研究後の感想を整理してまとめてありました。また写真や図表も活用されて、研究者の創意工夫も分かやすく、好感が持てました。

特選Aの2作品は、数多くの出品作品の中でも、研究テーマのオリジナリティーさ、実験結果の整理の分かりやすさ、考察や感想などの構成レベルの高さなどがすばらしく、私達審査員の関心を高くひきつけるものでした。

今回の科学作品展では作品展示がかなわず、みなさんに実際に作品を見てもらえないのは非常に残念ですが、次年度も今回のように数多くのすばらしい作品が集まって、多くの方々の目に触れることで理科への興味関心を高めてもらえることを願っています。